

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	平成29年11月10日13時30分～14時00分	場所	医師会館理事長室
----	--------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
成田 真一	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
谷合 清佳	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
朝比奈 ゆかり	介護主任	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
上條 由佳	事務	

4. 活動状況報告

別紙のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 勉強会の周知をもっとしていけばいいのでは

2. インシデントが多すぎる。もっと利用者が多くなる前に、色々なルールを作成しておく必要がある。

3. 要介護3以上を横浜市で無料歯科検診モデル事業を行なっているが、看多機では3名の申し込みがあったが、訪問看護などでは、利用できる人はどのくらいいるのか？

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【意見1】

⇒日程が決まってから開催するまで期間が短かった。来年はもっと計画的に研修会等の開催をしたい。

【意見2】

⇒決めたルールをきちんと守り、新たなルールの作成などを行なう。

【意見3】

⇒訪問看護管理者や居宅支援の管理者に伝えているが、現在はケアマネが歯科診療を依頼することが増えているので、紹介できる対象者が少ないようだ。

7. 地域からの情報提供

・特になし

8. その他特記事項

・特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(7月1日現在)	女性 12 名		男性 4 名		計 16 名	
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	1 名	2 名	1 名	3 名	9 名	0 名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	年齢	通い	泊まり	訪問看護	訪問介護	備考(入所日、退所日など)
ア	58	22	1	1	0	
イ	82	21	0	1	0	
ウ	93	10	5	2	0	
エ	74	23	0	1	0	10/31終了(11月～要支援)
オ	98	20	16	9	59	
カ	97	27	23	4	8	
キ	79	4	0	1	20	10/16入院・死亡終了
ク	73	8	0	3	19	
ケ	89	26	22	39	7	
コ	71	1	0	0	0	
サ	93	31	31	0	0	
シ	79	21	19	0	1	
ス	84	5	0	1	10	10/24退院10/25再利用
セ	55	8	0	0	24	
ソ	76	13	0	7	0	
タ	77	29	28	0	2	
チ						
ツ						
テ						
ト						
ナ						
ニ						
ヌ						
ネ						
ノ						
ハ						
ヒ						
フ						
ヘ						
合計		269	145	69	150	
平均	79.9	16.8	9.1	4.3	9.4	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	【利用者の獲得】1. 適切な職員の確保と黒字転換 2. 「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」: その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた具体的取組	1. 求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2. カンファレンス記録による情報の共有をしている 3. 利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4. 研修計画の実施

5. 活動報告

9月4・5・6日: 入職者オリエンテーション	10月16日: 管理者会
9月14日: 超尿病の勉強会	10月27日: お誕生日会
9月16日: 都筑区小規模多機能型居宅介護連絡会	10月31日: 研修会開催「お口から始める健康づくり」
9月21日: 運営会議(職員)	
9月27日: 施設の消防避難訓練	
9月30日: グランクレーンセンター南役員会での看多機説明	

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	1. 半固形(ラコールNF)栄養剤注入で加圧バックを使用。準備の際、圧が高すぎて接続チューブが外れて栄養剤がはみ出してしまった。 2. 食事注入の準備において白湯の量を間違った。看護師が注入の際に量の違いに気づきフラッシュ等の水分で調整した。 3. 独居の利用者の訪問忘れ、朝の食事と服薬介助がされなかったため、医師に連絡し、服薬の指示を得、家族に連絡して謝罪した。利用者本人の体調の変化はなかった。 4. 夕方の服薬介助の際に、朝食後のケースから薬を出してしまった。直ぐに他の夜勤者が気づいたが、既に利用者が薬を飲み込んだ後だった。 5. 食前薬の提供をし忘れた 6. 爪白癬で肥厚した爪を切っていたところ、利用者が不意に足を動かしたため、爪きりが左第2趾を受傷させた。少量の出血があったが直ぐに止血した。 7. 両下肢麻痺で車椅子を使用している利用者の入浴時の移乗時に左足背部に微かな表皮剥離をさせた。
改善策	1. 圧に注意する。 2. 基本に立ち返り、経管栄養注入表で栄養剤の種類や量、水分量などを確認する。 3. 業務日誌とは別に訪問チェック表を作り、必ず看護・介護リーダーがダブルチェックをし、当日のリーダーが再確認することとした。 4. 基本に立ち返り、薬(薬袋の印字・個数)と服薬一覧表を2名で確認を行なう。 5. 食前薬があることが分かるように食事トレイに食前薬クリップつける。 6. 不意の動きに対応できるように、脚全体を保持するように体勢を整えて爪切りを行なう。 7. 入浴後でも靴下・靴を履いてもらい保護して移乗する ・特にフットレストの取り外しが出来ないタイプは、二人介助で 足の位置などの確認を行なう

7. 地域への情報提供

特に無し

8. その他特記事項

特に無し
